


SONG
for you!

シオノギにはSONGがあります。

歌が人々を励まし、元気づけてきたように
くすりも人々の心とカラダを立ちならせてきたように
歌とくすりは、どちらも人を癒すチカラを
もっているとおもっています。

誰もが明るくすこやかに毎日をすごせるために
私たちは、これからもより良いくすりをつくっていききたい。
そんな想いをこめて、あなたのために。
SONG for you. シオノギ製薬です。

 シオノギ製薬
<http://www.shionogi.co.jp/>

平成16年度 決算説明会

平成17年5月18日

塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 塩野元三

 シオノギ製薬



目次

- 平成16年度 決算内容
 - 経営成績（連結，単体）
 - セグメント別売上高（連結）
 - 売上原価・販管費・営業利益
 - 損益分析
 - 売上高・営業利益の推移
 - 従業員数の推移と第一次中期計画 実施事項
- 平成17年度 業績予測
 - 第二次中期計画での平成17年度の位置付け
 - 連結・単体予測
 - セグメント別売上高（連結）
 - 売上原価・販管費・営業利益
 - 売上高・営業利益の推移（予測）
- 平成17年度のポイント
 - 研究開発
 - 営業戦略
- クレストールの安全性監視計画について



経営成績（連結，単体）

（単位：億円）

	16年度 実績	15年度 実績	対前年 UP率%
< 連結 >			
売上高	1,993	2,004	0.6
営業利益	287	202	41.6
経常利益	278	175	58.1
当期純利益	189	22	759.6
< 単体 >			
売上高	1,807	1,832	1.4
営業利益	245	161	52.0
経常利益	254	154	65.0
当期純利益	177	13	-



セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	16年度 実績	15年度 実績	対前年 増減	対前年 UP率%
医療用医薬品	1,680	1,734	54	3.1
フロモックス	332	345	13	3.7
フルマリン	170	193	23	11.9
塩酸バンコマイシン	161	182	21	11.5
イムネース	104	95	9	9.3
クラリチン	89	55	34	62.8
MSコンチン	56	77	21	27.7
オキシコンチン	29	9	20	239.5
一般用医薬品	63	67	4	5.9
診断薬	35	37	2	5.7
工業所有権等使用料収入	61	12	49	393.5
クレストール	48	7	41	580.4
カプセル	118	114	4	4.1
工業薬品	0	9	9	-
不動産賃貸・その他	33	28	5	19.8
合計	1,993	2,004	11	0.6

* 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



売上原価・販管費・営業利益

(単位：億円)

	16年度 実績	15年度 実績	対前年 UP率%	増減
売上高	1,993	2,004	0.6	11
(ロイヤルティ)	(61)	(12)	390.7	(49)
	37.2	39.8		
	(38.3)	(40.1)		
売上原価	740	798	7.2	58
	48.4	50.1		
販売費・一般管理費	966	1,003	3.8	37
販売・管理費	672	705	4.8	33
研究開発費	294	298	1.3	4
	14.4	10.1		
営業利益	287	202	41.6	85

平成16年度 決算内容



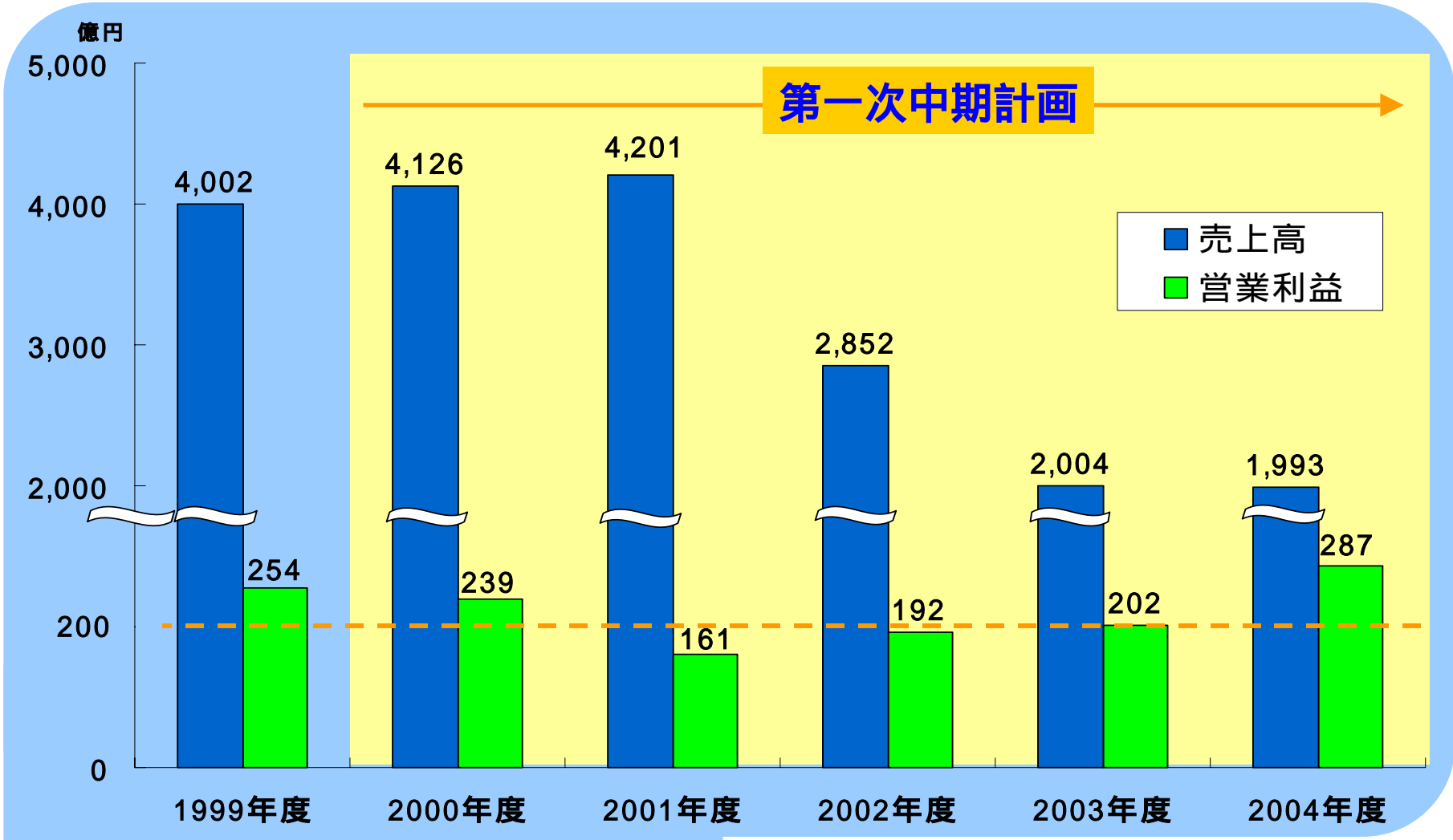
損益分析

(単位：億円)

薬価改定	50
販売の増	+ 7
ロイヤルティの増	+ 49
人件費の減	+ 87
製造費用の減	+ 17
販管費 諸経費の増	23
研究開発費 諸経費の増	2
合計	+ 85

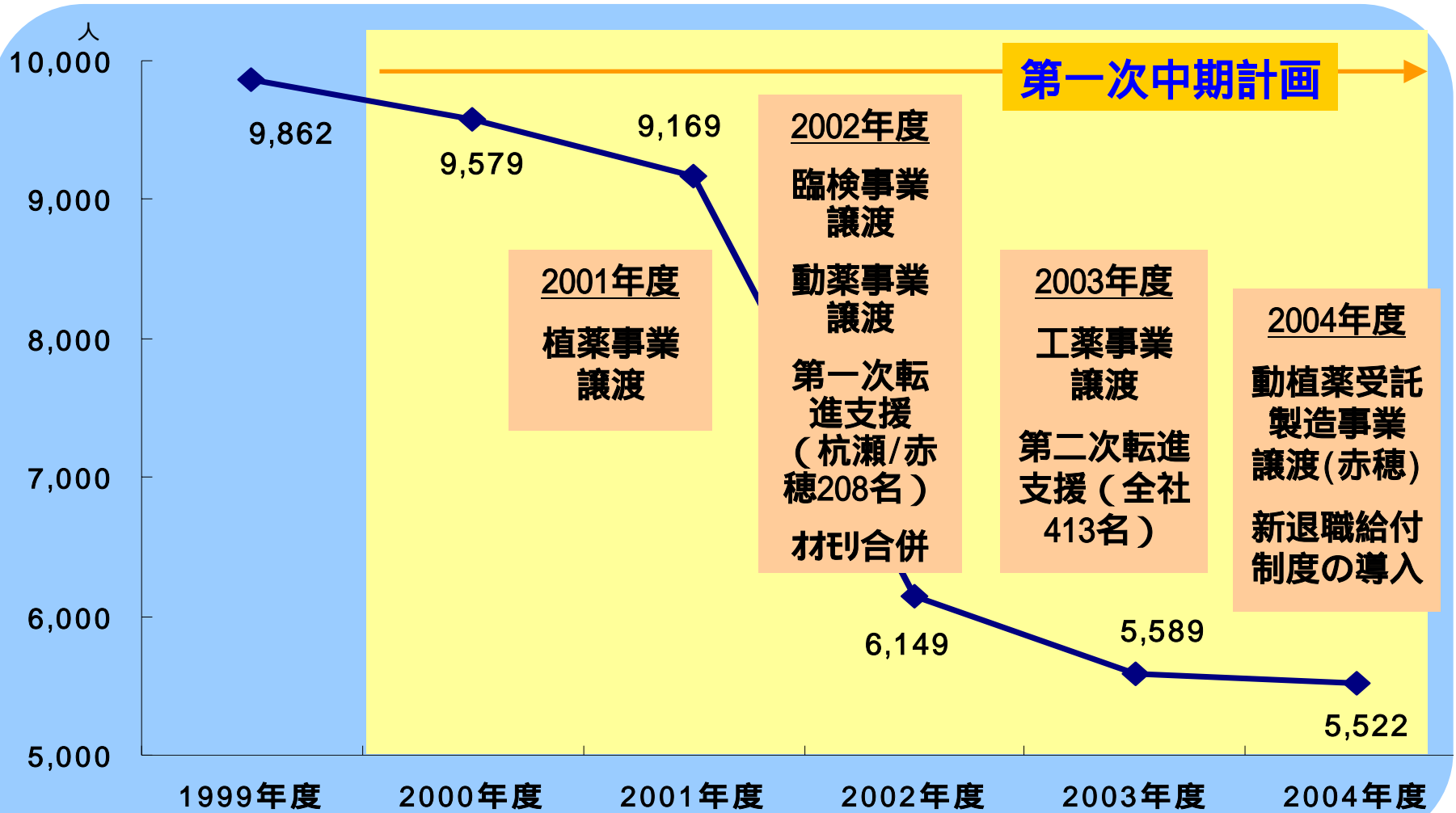


売上高・営業利益の推移（連結）





従業員数の推移と第一次中期計画 実施事項





第二次中期計画での平成17年度の位置付け

第二次中期計画スタートの年度として、以下の
点に注力する

- ・ **研究開発**

重点3領域（感染症，疼痛，MS）での研究・開発
段階の着実な進展

- ・ **営業**

重点領域を中心とした製品最大化に向けた取組みを通し
てMR力を強化

- 新製品の育成
- 既存品のシェア拡大
- クレストールの安全性監視計画



連結・単体予測

(単位：億円)

	17年度 予 測	16年度 実 績	対前年 UP率%
< 連結 >			
売 上 高	2,060	1,993	3.3
営 業 利 益	300	287	4.4
経 常 利 益	285	278	2.5
当 期 純 利 益	180	189	5.0
< 単体 >			
売 上 高	1,870	1,807	3.5
営 業 利 益	265	245	7.8
経 常 利 益	270	254	5.9
当 期 純 利 益	175	177	1.6



セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	17年度 予 測	16年度 実 績	対 前 年 増 減	対 前 年 UP率%
医療用医薬品	1,715	1,680	35	2.1
フロモックス	340	332	8	2.4
フルマリン	160	170	10	5.9
塩酸バンコマイシン	155	161	6	3.7
イムネース	107	104	3	2.9
クラリチン	110	89	21	23.6
MSコンチン	45	56	11	19.6
オキシコンチン	50	29	21	72.4
クレストール	2	0	2	-
ドリペネム	10	0	10	-
モキシフロキサシン	10	0	10	-
一般用医薬品	68	63	5	7.9
診断薬	30	35	5	14.3
工業所有権等使用料収入	100	61	39	63.9
クレストール	85	48	37	77.1
カプセル	118	118	0	-
不動産賃貸・その他	29	33	4	12.1
合計	2,060	1,993	67	3.4

* 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高

平成17年度 業績予測



売上原価・販管費・営業利益

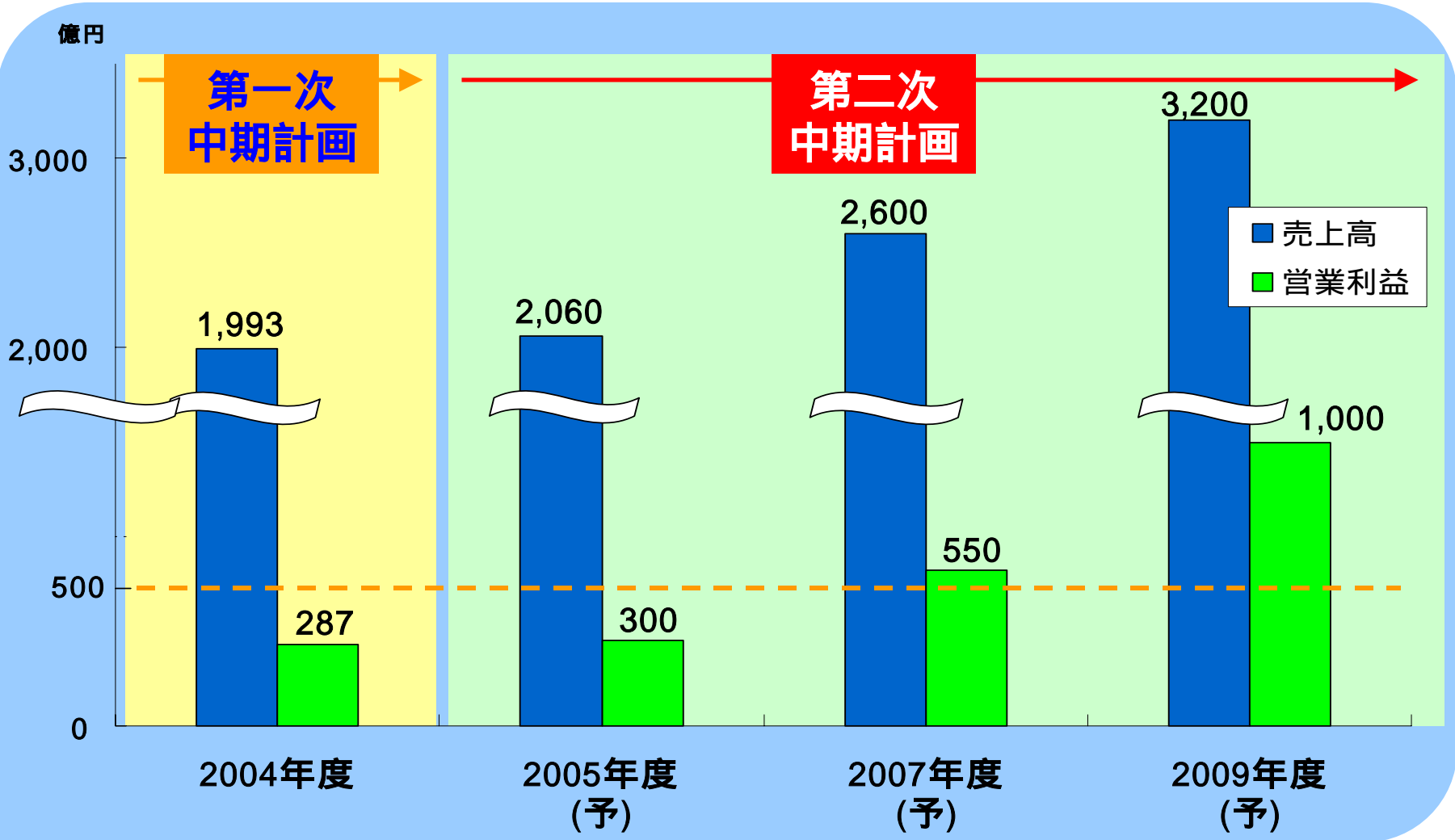
(単位：億円)

	17年度 予 測	16年度 実 績	対 前 年 UP率%	増 減
売 上 高	2,060	1,993	3.3	67
(ロイヤルティ)	(100)	(61)	63.8	(39)
	35.7	37.2		
	(37.5)	(38.3)		
売 上 原 価	735	740	0.8	5
	49.8	48.4		
販売費・一般管理費	1,025	965	6.1	60
販売・管理費	685	671	2.0	14
研究開発費	340	294	15.6	46
	14.6	14.4		
営 業 利 益	300	287	4.4	13

平成17年度 業績予測



売上高・営業利益の推移（予測）



平成17年度 業績予測



研究開発領域のupdate (1)

平成17年度のMission

< 重点3領域における創薬研究、開発の定着 >

平成17年度4月に創薬研の大幅組織変更（実施済）

〃 7月に開発領域 〃 （予定）

重点領域において、MPDR参加の審議機関（TAカンファレンス）を発足させ、組織もそれに対応する形



研究開発領域のupdate (2)

< 感染症領域 >

- S-4661 (ドリペネム)

 - 国内：第二部会通過。7月承認（予定）

 - 海外：J&Jによるペニン斯拉社買収発表

 - 今までの枠組みを基本に更にポテンシャル最大化へ

- モキシフロキサシン

 - 平成17年度の発売へ向け準備中

- S-013420

 - 平成17年度内後半からphase 開始予定。

- HIV インテグラーゼ阻害剤（GSKとのJV）

 - 新候補品同定済み。平成17年度中FTIH開始予定。



研究開発領域のupdate (3)

<MS領域>

ー クレストール（国内）

市販後監視計画を全面支援
IVUS試験の実施準備

5月以降立ち上げへ

- イルベサルタン

追加データについて当局と最終交渉中

- LY248686（デュロセチン）：糖尿病性神経因性疼痛
治験相談完了。平成17年秋よりphase 開始。



研究開発領域のupdate (4)

< 疼痛領域 >

- オキシコドン速放製剤
審査は順調に進展。平成17年度内承認取得へ
向け継続。
- オキシコンチン：非がん性疼痛への効能拡大
平成17年度上半期治験相談
年度内に治験開始へ
- 疼痛創薬領域における包括的アライアンス
平成17年度上半期締結を目指して交渉中



営業領域：新製品の育成

- 抗生剤市場におけるNo.1シェアのプレゼンスの拡大 -

平成17年度

- ・ 新製品：ドリペネム，モキシフロキサシンの速やかな立ち上げ
- ・ ラインアップの充実による患者個々の病態に対応した治療法の提案
- ・ 急性期医療機関を中心とした感染症領域でのセットDetailの展開
 - ・ 注射剤：フルマリン・プロアクト・ドリペネム・バンコマイシン
 - ・ 内服剤：レスピラトリー・キノロンの啓蒙
フロモックス・モキシフロキサシン
(呼吸器感染症：上気道感染症から下気道感染症迄カバー)

平成17年度のポイント



営業領域：疼痛

- がん疼痛の完全除痛にこだわるDetail拡大-

平成16年下期

- ・ オキシコンチン採用率100%を目指す

採用率：大学病院：98%、がんセンター：100%、300床以上HP：92%

平成17年度

- ・ オキシコンチン・MSコンチン(持続性がん疼痛治療薬)でシェアNo.1
- ・ 患者個々の疼痛程度に応じた適正使用の推奨行動を拡大
(start with stay with)
- ・ 速放製剤上市をにらんだ早期完全除痛治療法の啓蒙
- ・ 組織的な対応：研究会、小セミナー等でWHO方式、オキシコンチンの特性理解の向上を図る

平成17年度のポイント



営業領域：クラリチン

平成16年下期

- ・ クラリチンレディタブ錠発売を起爆剤に採用軒数拡大
納入軒数(上期):19,343軒 (下期):31,105軒

平成17年度

下期中に、第二世代抗ヒスタミン剤で月間シェア10%到達

- ・ レディタブ錠によるクラリチン認知度向上の継続
- ・ 耳鼻科、内科と共に皮膚科領域の取り組み拡大
- ・ 組織的対応の積極的な推進:エリア毎の小セミナーの開催

医薬品安全性監視計画策定の背景

アストラゼネカ及びシオノギの姿勢

患者さんの安全性最優先

国際的な取り組み

「医薬品安全性監視の計画」
が最終合意

行政当局の取り組み

薬事法の改正

“予測対応型”の安全対策



日本人の安全性の確認を最優先で行うため、
日・米・欧で合意されたICH E2Eガイドラインに準拠した、
国内初の医薬品安全性監視の計画を策定し、実行します。



クレストール®錠の安全性監視計画の目的

次の課題を中心に、日本人における本剤の安全性プロファイルを明確化する。

特定されている課題：筋及び肝に対する影響

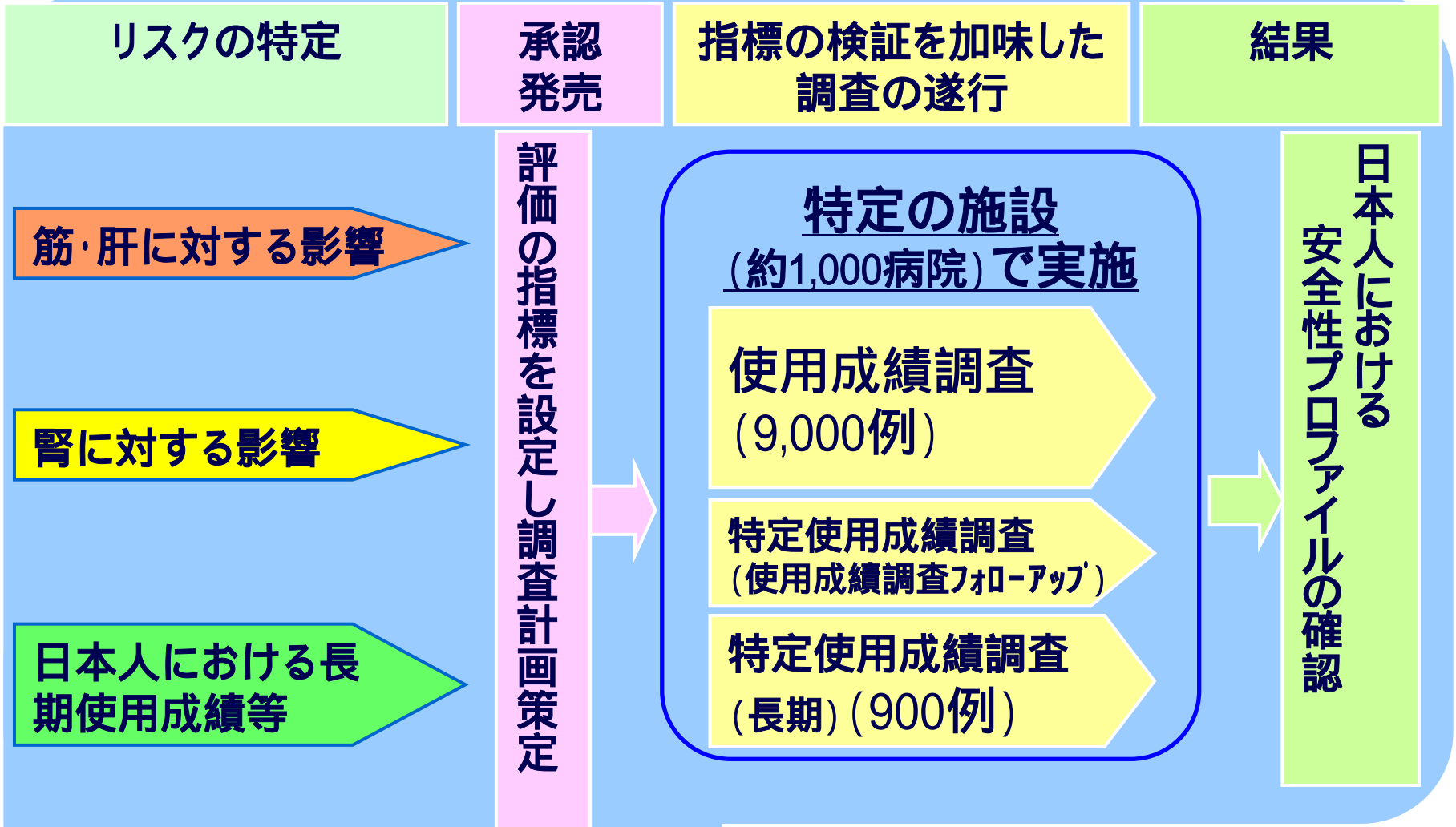
潜在的な課題：腎に対する影響

不足している情報：日本人における長期使用成績 等

上記の安全性上の兆候の早期発見と迅速な安全確保措置を講じる。



クレストール®錠の製造販売後調査計画





安全性情報の収集及び提供

適正使用の推進

- 開始用量 (2.5mg) の遵守の依頼と確認
- 定期的な臨床検査実施の依頼 (筋・肝・腎)

安全性情報の収集

- 医薬情報担当者 (MR) は医療機関への週1回の訪問により、本剤投与中に発現した副作用情報を迅速に収集
- 必要に応じて、社内医学専門家が医療機関を訪問し、専門的な観点から質の高い情報を収集

安全性情報の提供

- 両社のMRを通じて医療従事者へ情報を提供
- 両社で運営する本剤のインターネットウェブサイト上に情報を公開



本資料のお問い合わせ先

塩野義製薬株式会社 広報室

本社

TEL: 06 - 6209 - 7885

FAX: 06 - 6229 - 9596

東京

TEL: 03 - 3406 - 8164

FAX: 03 - 3406 - 8099

本資料の将来の予測等に関する各数値は、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づくものであり、競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。